



# しゅら

子育て支援センター



悠遊郷



## 鬼は外、 福は内

2月3日、アトム保育園（子育て支援センター）、悠遊郷に突然鬼が現れました。アトム保育園では泣きじゃくる子どもたちでパニック状態になりました。一方、悠遊郷では鬼が踊りだし、通所者の拍手喝采をあげていました。すこやかな成長と、豊かな老後の願いが、まく豆にこめられていました。

# 決まる

## 市議員一般選挙～

### 当選者の顔ぶれ 白ヌキ数字は当選回数

任期満了に伴う市浦村村議会議員選挙は六日告示され、定数十二に対し現職十人、新人一人、元職一人が立候補し、無投票で当選が決まりました。なお、無投票は市浦村が発足してから今回（十三回目）が初めてとなります。任期は二月一日から四年間です。

再当選された方、また新人の方に抱負を聞きましたのでご紹介いたします。（届け出順）



相澤 治 (61歳) 4

市浦村発展のために初心を忘れることなく頑張りたいと思っています。

特に農家の前途は暗いけれども少しでも希望を与えるよう努力をします。

また、町村合併も厳しい状況にあります。最良の道求めて全力投球で取り組みます。



三和 孝治 (60歳) 2

二十一世紀は地方分権の時代です。自治体は自らの決定と責任が求められることになりました。

いま、最大の課題は市町村合併です。次の時代を担う子や孫達のため、わが村の進むべき道を求めていかなければなりません。一人ひとり何が出来るのか



成田 長代 (67歳) 6

考えて行動する時です。皆さんの声を反映するため全力をつくします。

老後は誰でも通る道です。しかし、その老後がどうなるのか不安だと思えます。私は皆が「ピンとシャンとした」老後を送れるような、年寄りにやさしい村をつくりたい。

また、牛の堆肥等を利用し、安心で、安全で、愛情が伝わる農業をめざし、都会から多くの人が訪れる村をつくりたい。



工藤誠一郎 (74歳) 5

いま、市浦村にとって、最も大事なことは町村合併の行方である。それぞれの町村の利害関係というハードルを幾つも越えなければならぬ。



三和 均 (53歳) 4

市浦村の意志を決定する機関である村議会の役割は重大である。合併は相互信頼の上に構築されるものと思う。

このたび、四度目の当選をいただき、心より感謝申しあげます。

これからの地方発展は市町村合併以外あり得ません。

将来を見極め、郷土伸展のため奮闘、努力いたします。



笹山 精喜 (58歳) 5

市浦村の活性化と、明るく豊かな住み良い村づくりを皆様と共に実現するため誠心誠意頑張るつもりであります。

いま、一番問題となっている市町村合併については広域合併をめざし、どのような枠組みが



木村 博 (54歳) 1

市浦住民にとって最も良いのかを考え、より良い合併をめざし努力して行きたいと思えます。

市浦村の合併が、今後どのような方向に進むと将来的に一番村民のためになる合併なのかを見極めながら左記のことを推進していきたいと思っています。

一、バイオマスの利活用による新しい産業を創出します。

二、しゅら型農業を推進します。

三、森を育て、海を育て、自然を守ります。

四、健康、福祉の里づくりを推進します。

五、消防、防災システムを強化し災害に強い地域作りを推進します。



工藤 武則 (59歳) 8

# 12人の顔

## ～市浦村議会

皆様の温かいご支援のもと、ただひたすら故郷市浦村の発展を願い微力ながら努力してまいりました。

この度の選挙にあたり、私は初心に帰り村民主権の立場を尊重し議会制民主政治に村民の声を反映させながら安心して住める村づくりと福祉行政に汗を流してみたい。

また、このたび津軽北部四町村合併協議会において、金木町が合併協議会から離脱となり村民の皆さんには大変ご迷惑をおかけいたしました。

これからは新たな気持ちを持って、村民の皆様方の意志を尊重して、皆様方の前に明りを灯

しながらまい進して行きたいと思えます。



中畑 藤雄 (64歳) 4

第一次産業が大変厳しい時、福祉、観光等多事多難のおり町村合併等避けて通れない諸問題に市浦村がどのように生き抜くべきか？

私は「共に汗」「共に行動」「共に喜び」をスローガンに「皆様方と歩む政治を」目指して頑張ります。



濱田 春士 (74歳) 7

一、町村合併を強力に進めていきたいと思えます。  
二、交流人口の増加を図って観光産業の活性化を図る。  
三、バイオマスの拠点づくりを進め、有機農業の育成に努める。

四、社会福祉の増進に努める。  
五、十三湖の西側の護岸工事を完成させて、水産振興を図る。



島津 典明 (61歳) 8

当面最優先されるのは、皆さんの最大の関心事である町村合併です。枠組みの考え方として、当村の基幹産業の農、水、林業の活性化につながる具体的な施策を組み入れることです。そのためには村民各階層からの意向要望を汲みとり、それが充分反映されたものでなければならぬと思います。

そして、何年か後に「合併して良かった」と、若い人からも高齢者からも言われるような町村合併にしたいと思えます。



葛西敬太郎 (78歳) 6

村政の最大課題は市町村合併

です。  
十年後、二十年後に良かったと言われような合併に全力で取り組みたいと思っております。

### 市浦村議会 臨時議会(組織会)

二月四日 市浦村議会第二回臨時会が召集され、議長、副議長を選任しました。また、各常任委員会も決まりました。

#### 議長

・島津 典明

#### 副議長

・中畑 藤雄

#### 各常任委員会

(◎は委員長 ○は副委員長)

#### ◆総務文教常任委員会

◎ 葛西 敬太郎

○ 工藤 誠一郎

○ 濱田 春士

○ 中畑 藤雄

○ 三和 孝治

○ 木村 博

#### ◆産業建設常任委員会

◎ 笹山 精喜

○ 成田 長代

○ 工藤 武則

○ 島津 典明

○ 相澤 均

○ 三和 均

#### ◆議会運営委員会

◎ 三和 孝治

○ 木村 博

○ 葛西 敬太郎

○ 笹山 精喜

○ 三和 均

#### ◆西北五広域福祉事務組合議員

・相澤 均

#### ◆西北五広域環境整備事務組合議員

・笹山 精喜

#### ◆津軽北部広域事務組合議員

・成田 長代

・三和 均

#### ◆つがる西北五広域連合議員

・三和 孝治

#### ◆監査委員

・相澤 均



特集

町村合併協議会解散に伴う報告会

なぜ崩壊！ 今後の行方は？

よりよい合併の方法をさぐる

一月十五日コミュニティセンターにおいて、津軽北部四町村合併協議会より金木町が離脱し、協議会が解散したことに伴う住民説明会が行われ約百六十人が参加しました。はじめに、高松村長からなぜ、金木町が町村合併協議会から離脱し、解散となったのか説明がありました。「昨年二月一日法定協議会を設置、調印、七月には新町の事務所の位置を金木町と決定し、九月には新町の名称を「十三湖町」と決定した。協議が最終段階に入って合併も目前と迫った矢先の突然の離脱表明で合併協議会は解散した。市浦村が職員新規採用を中止しなかったという理由です。今まで採用を控えてきたため職員に多大な負担を強いてきました。しかし、十六年度は、臨時職員で対応不可能です。定年退職者は補充しませんが、中途退職者の分は補充します。そうしないと安心した業

務が提供できない」と職員採用の必要性を述べました。また、今後の合併については、今月三十日の協議会解散後に進めていくことを明らかにしました。つづいて、工藤村議会議長が、「合併に関しては、私も近隣町村の地域住民を大切に考え頑張ってきた一人です。合併協議会がこんな形で崩壊してしまつたことは非常にショックです。また、こんな結果になったことを深くお詫び申し上げます。議会としては住民の皆さんが最も良いと思う方法で今後の合併を進めていきますのでご理解をお願いいたします」と報告がありました。また、意見交換会では活発な意見が飛び交いました。



意見交換会

Q 何とかまた、元のさやに戻れないものか？なぜ、すぐ五所川原市の名が出てくるのか？

**A** (村長) 解散の議決をしてしまっている。合併せずにはやっつけいけない。そこがこわれれば五所川原市しかないのかなと思う。これからのことを考えなければいけないと思う。

**Q** 住民の意見を尊重し、議員が決めるものではないのではな  
いか？

**A** (村長) これは議会制民主主義に基づくもので、議会を尊重しながら、住民の直接意見も聞き、総合的に判断し問題を解決していく。住民の代表となつてゐるのが議員であり、村長である。それを皆さんが選んでいる。

**Q** まず、五所川原市ありきといつていますが五所川原市は不安、距離的にも遠い。道路がこわれても直してくれるのか。五所川原からお金が回ってくるのか？また、吸収合併になつてしまふのではな  
いか？

また、十三湖のじじみ漁はどうなるのか？

**A** (村長) 吸収合併が有利な場合もある。人口五万人と三千人とでは対等合併は無理な

場合もある。住民にいい方向で持つていきたい。しじみについては、全国的にブランドを確立してゐるのでどこと合併しても不安はない。

**Q** 五所川原市の反応は？

**A** (村長) まだ、正式に話し合ひはしていない。合併協議会が解散してから動きたいと思つてゐる。

**Q** 西津軽合併協議会への選択肢はないのか

**A** (議長) 議会では、いまの



ところ浮上してゐないが、選択肢にいてもいいのではないかと  
思つてゐる。

十七年三月までに、議決し、知事に申請すると、一年間は優遇措置がとられる。そうすると十八年までの合併期限となる。

**Q** 二町二村での合併協議会は復活することはないのか。

**A** (村長) ありえませんが、離脱は議会が決めたこと。離れたり、復活したりする、そんな軽いものではないと思つてゐます。

**Q** いま必要なのは、住民も職員も意識改革だと思つてゐます。待つてゐるだけではダメです。理事者、議員、職員、村民が一体となつていくときつと良いマチができると思つてゐます。

五所川原市と合併になつた場合の財政シミュレーションを示してください。

**A** (村長) これからは地方分権の時代です。いままでは、国や県の指示で仕事をしてきたが、今後は自分達のマチで自分達の判断で仕事をしていかなければならない。そのためには十万規模でなければならぬ。例えば市浦では一人の職員の負担が二十万だが、五所川原だと一人六万円の負担となる。

**Q** 今日のアンケート用紙は反映されるのでしょうか。また、

アンケート用紙は毎戸に配布する予定はあるのでしょうか？

**A** (村長) どういう感想をもつてゐるのか参考にしただけです。アンケートといつても難しいです。一族に於いて誰が回答するのかによつて違つてきます。今後は百人委員会を発足させ、意見を聞きながら取り組んで行きたいと思つてゐます。

### 参加者の声

● 安保伊美子さん

金木の行動は以外であつた。大きい枠組みができそうで期待してゐます。視野が広がりそうです。



安保さん (左)

であれば早く行つた方が良く  
思ひます。



亀田さん

● 八木澤 淳さん

合併するメリット、デメリットを出して住民投票するべきです。



八木橋さん (右)

● 亀田 幸美さん

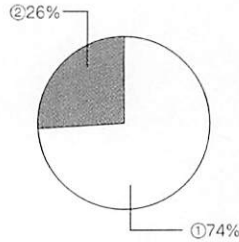
最終的に五所川原市に行くの

# 市町村合併に関する村民アンケート調査集計表

## 全体結果

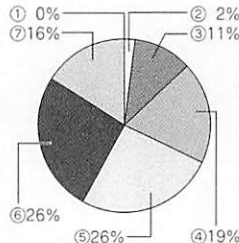
あなたの性別をお答えください。  
一つだけ○をつけてください。

|      |    |
|------|----|
| ① 男性 | 90 |
| ② 女性 | 31 |



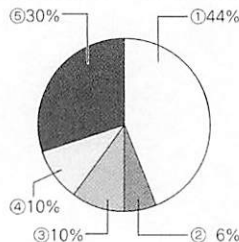
あなたの年齢はおいくつですか。  
一だけ○をつけてください。

|         |    |
|---------|----|
| ① 20歳未満 | 0  |
| ② 20歳代  | 2  |
| ③ 30歳代  | 13 |
| ④ 40歳代  | 23 |
| ⑤ 50歳代  | 31 |
| ⑥ 60歳代  | 33 |
| ⑦ 70歳代  | 19 |



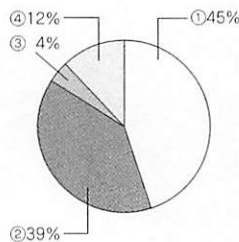
あなたが現在お住まいの地区はどこですか。  
一つだけ○をつけてください。

|         |    |
|---------|----|
| ① 相内・桂川 | 54 |
| ② 太田    | 7  |
| ③ 脇元    | 12 |
| ④ 磯松    | 12 |
| ⑤ 十三    | 36 |



あなたは市町村合併するとすれば、次のうちどれが適当だと思いますか。  
一つだけ○をつけてください。

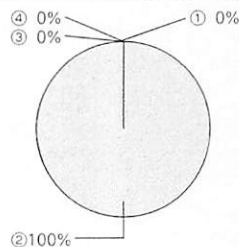
|                         |    |
|-------------------------|----|
| ① 市浦村と五所川原市との合併         | 54 |
| ② 中里町・小泊村に呼びかけ3町村と五所川原市 | 47 |
| ③ 中里町・市浦村・小泊村の3町村       | 5  |
| ④ その他                   | 15 |



## 年代別結果

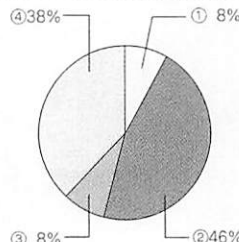
あなたは市町村合併するとすれば、次のうちどれが適当だと思いますか。  
(20歳代回答)

|                         |   |
|-------------------------|---|
| ① 市浦村と五所川原市との合併         | 0 |
| ② 中里町・小泊村に呼びかけ3町村と五所川原市 | 2 |
| ③ 中里町・市浦村・小泊村の3町村       | 0 |
| ④ その他                   | 0 |



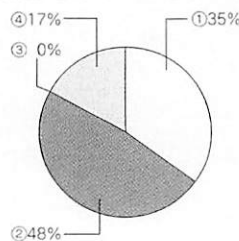
あなたは市町村合併するとすれば、次のうちどれが適当だと思いますか。  
(30歳代回答)

|                         |   |
|-------------------------|---|
| ① 市浦村と五所川原市との合併         | 1 |
| ② 中里町・小泊村に呼びかけ3町村と五所川原市 | 6 |
| ③ 中里町・市浦村・小泊村の3町村       | 1 |
| ④ その他                   | 5 |



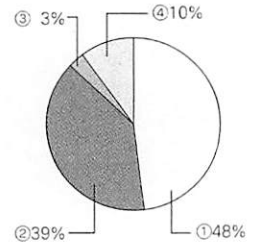
あなたは市町村合併するとすれば、次のうちどれが適当だと思いますか。  
(40歳代回答)

|                         |    |
|-------------------------|----|
| ① 市浦村と五所川原市との合併         | 8  |
| ② 中里町・小泊村に呼びかけ3町村と五所川原市 | 11 |
| ③ 中里町・市浦村・小泊村の3町村       | 0  |
| ④ その他                   | 4  |



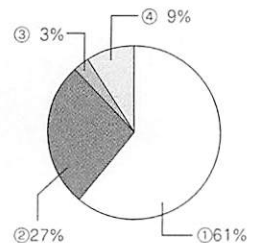
あなたは市町村合併するとすれば、次のうちどれが適当だと思いますか。  
(50歳代回答)

|                         |    |
|-------------------------|----|
| ① 市浦村と五所川原市との合併         | 15 |
| ② 中里町・小泊村に呼びかけ3町村と五所川原市 | 12 |
| ③ 中里町・市浦村・小泊村の3町村       | 1  |
| ④ その他                   | 3  |



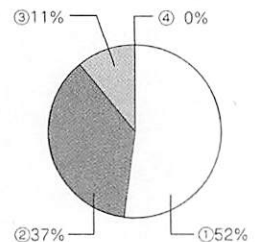
あなたは市町村合併するとすれば、次のうちどれが適当だと思いますか。  
(60歳代回答)

|                         |    |
|-------------------------|----|
| ① 市浦村と五所川原市との合併         | 20 |
| ② 中里町・小泊村に呼びかけ3町村と五所川原市 | 9  |
| ③ 中里町・市浦村・小泊村の3町村       | 1  |
| ④ その他                   | 3  |



あなたは市町村合併するとすれば、次のうちどれが適当だと思いますか。  
(70歳代回答)

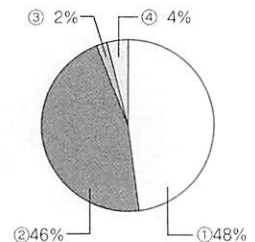
|                         |    |
|-------------------------|----|
| ① 市浦村と五所川原市との合併         | 10 |
| ② 中里町・小泊村に呼びかけ3町村と五所川原市 | 7  |
| ③ 中里町・市浦村・小泊村の3町村       | 2  |
| ④ その他                   | 0  |



## 地域別結果

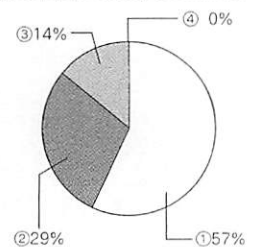
あなたは市町村合併するとすれば、次のうちどれが適当だと思いますか。  
(相内、桂川地区回答)

|                         |    |
|-------------------------|----|
| ① 市浦村と五所川原市との合併         | 26 |
| ② 中里町・小泊村に呼びかけ3町村と五所川原市 | 25 |
| ③ 中里町・市浦村・小泊村の3町村       | 1  |
| ④ その他                   | 2  |



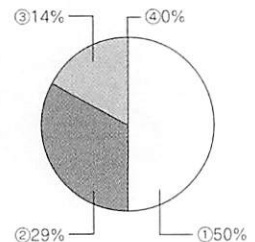
あなたは市町村合併するとすれば、次のうちどれが適当だと思いますか。  
(太田地区回答)

|                         |   |
|-------------------------|---|
| ① 市浦村と五所川原市との合併         | 4 |
| ② 中里町・小泊村に呼びかけ3町村と五所川原市 | 2 |
| ③ 中里町・市浦村・小泊村の3町村       | 1 |
| ④ その他                   | 0 |



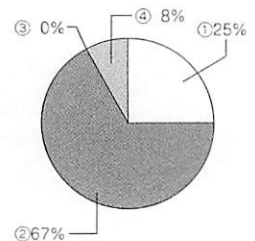
あなたは市町村合併するとすれば、次のうちどれが適当だと思いますか。  
(脇元地区回答)

|                         |   |
|-------------------------|---|
| ① 市浦村と五所川原市との合併         | 6 |
| ② 中里町・小泊村に呼びかけ3町村と五所川原市 | 4 |
| ③ 中里町・市浦村・小泊村の3町村       | 0 |
| ④ その他                   | 2 |



あなたは市町村合併するとすれば、次のうちどれが適当だと思いますか。  
(磯松地区回答)

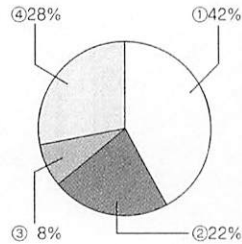
|                         |   |
|-------------------------|---|
| ① 市浦村と五所川原市との合併         | 3 |
| ② 中里町・小泊村に呼びかけ3町村と五所川原市 | 8 |
| ③ 中里町・市浦村・小泊村の3町村       | 0 |
| ④ その他                   | 1 |



地域別結果

あなたは市町村合併するとすれば、次のうちどれが適当だと思いますか。(十三地区回答)

|                         |    |
|-------------------------|----|
| ① 市浦村と五所川原市との合併         | 15 |
| ② 中里町・小泊村に呼びかけ3町村と五所川原市 | 8  |
| ③ 中里町・市浦村・小泊村の3町村       | 3  |
| ④ その他                   | 10 |



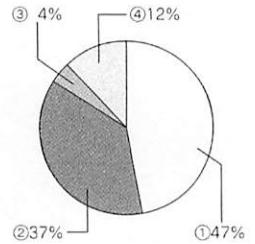
合併パターン その他 (内容)

| 合併パターン              | 件数  |
|---------------------|-----|
| ① 四町村での合併           | 8件  |
| ② 四町村と五所川原市との合併     | 2件  |
| ③ 市浦村と五所川原市又は、西との合併 | 1件  |
| ④ 木造、車力との合併         | 1件  |
| ⑤ 広域合併              | 1件  |
| ⑥ 未回答               | 2件  |
| 合計                  | 15件 |

男女別結果

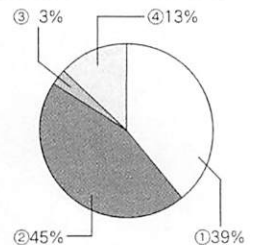
あなたは市町村合併するとすれば、次のうちどれが適当だと思いますか。(男性回答)

|                         |    |
|-------------------------|----|
| ① 市浦村と五所川原市との合併         | 42 |
| ② 中里町・小泊村に呼びかけ3町村と五所川原市 | 33 |
| ③ 中里町・市浦村・小泊村の3町村       | 4  |
| ④ その他                   | 11 |



あなたは市町村合併するとすれば、次のうちどれが適当だと思いますか。(女性回答)

|                         |    |
|-------------------------|----|
| ① 市浦村と五所川原市との合併         | 12 |
| ② 中里町・小泊村に呼びかけ3町村と五所川原市 | 14 |
| ③ 中里町・市浦村・小泊村の3町村       | 1  |
| ④ その他                   | 4  |



☆アンケート提出者.....121名

(H16. 1. 15 開催：町村合併協議会解散に伴う報告会)

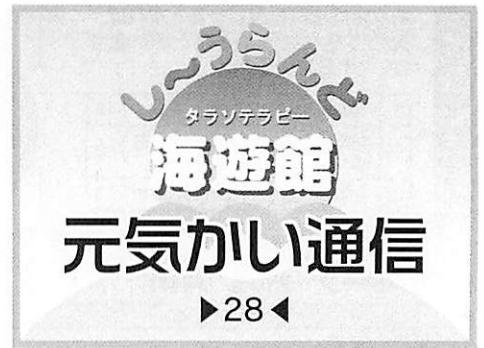
その他、市町村合併についての意見

- 1 首長達の意見の相違で白紙になったことは、非常に残念なこと。ただそういう事で急いで将来の子供達にいい選択をした合併だと言えるのか？  
(女性・40歳代・相内)
- 2 今回の金木町には、がっかりした。二度と金木町とは一緒になりたくない。今後は五所川原市と中心に我が市浦村が益々発展していくことを望む。  
(女性・60歳代・十三)
- 3 何も言うことなし、早くやれ。(市浦村と五所川原市との合併)  
(男性・60歳代・相内)
- 4 岩崎の例もあり、何とか西北五で合併できないものか。時代は確実に変わっている。津軽平野全体を一つの地域と考えられないか。(男性・50歳代・相内)
- 5 新聞によればわが村だけが悪いようになっている。金木町は町名が原因で離脱したのではないか。職員の採用の理由は論外である。村民のため行政も議会もこれから頑張ってもらいたい。(男性・60歳代・相内)
- 6 財政が許せば独自でも。(男性・60歳代・相内)
- 7 より早く合併してもらいたい。(男性・30歳代・相内)
- 8 五所川原市との飛び地合併・3町村での合併・3町村+五所川原市との飛び地合併、それぞれ良い点、悪い点を出し住民の勉強会を開いたのち住民投票すべき。  
(男性・30歳代・十三)
- 9 早めに村は進めてほしい。(市浦村と五所川原市との合併)  
(男性・60歳代・脇元)
- 10 時代は動いている。井の中の蛙にならないよう広い視野で子供達に広い生活圏を残すような合併を望む。  
(女性・60歳代・相内)
- 11 時期を失しないで、村民を中心に五所川原市との協議を進めること。意思集約のために、100人委員会を。  
(男性・60歳代・相内)
- 12 将来にわたる希望が持てる合併を望む。津軽半島、青森市も視野に入れた合併を望む。  
(男性・50歳代・相内)
- 13 五所川原市の飛び地になっても市浦の住民にとって何のメリットもないと思われる。  
(女性・40歳代・磯松)
- 14 1月15日に東奥日報に記載されていた記事について、金木町が中里町、小泊村を伴い五所川原市との合併

も視野にいれていると言う。金木町は自分の意見が通らなければ、また別の意見と言うように無理難題を押し付けてくる。当村民としてくやしい思いをしている。また記載されている記事についても良否の判断が片寄っていると感じている。

(男性・50歳代・相内)

- 15 木造・車力 話し合いを。(男性・60歳代・十三)
- 16 反省する事も、不安もあるがこれからの時代は広域だ。  
(男性・50歳代・相内)
- 17 将来を見極め五所川原市を中心に合併すること。隣村の見識に左右されることなく検討を深め決定してほしい。目先のことにこだわらず未来のため、誤りのない合併を。  
(男性・70歳代・十三)
- 18 とにかく合併はすべきである。前向きで建設的な街作りを望みます。  
(女性・50歳代・十三)
- 19 中里町・小泊村に呼びかけるまでもなく単独で五所川原市との合併を進めたほうがよろしいのではないかと。  
(女性・60歳代・脇元)
- 20 金木町の法定協離脱は民主主義のルール違反であり横暴である。  
(男性・60歳代・十三)
- 21 小泊村、中里町に呼びかける必要なし。(市浦村と五所川原市との合併)  
(男性・60歳代・相内)
- 22 小規模な合併でなく大規模を。(20~30万人規模)  
(男性・50歳代・十三)
- 23 人口5万人以上となる広域合併であること。市浦村だけで45億円もの負債があるが、今後この負債の処理はどうするのか。合併しても財政についてのシミュレーションが確立されなければ、何のための合併かよく考えてほしい。  
(男性・70歳代・相内)
- 24 村長と議長、村の代表である方々の意見が統一されていないように感じられ、今後ますます不安を感じた。  
(女性・40歳代・相内)
- 25 今日話を聞いていると村長と議長の合併があつていないのではないかと。また、今まで他の2町1村が裏で組んでいたのではと感じるが・・・そんな町村は考えずという「安保氏」、「三上氏」の意見に拍手。例えば市浦村と五所川原市と合併すれば鶴田や板柳も来るものか。  
(女性・30歳代・脇元)
- 26 お互いの町村又は五所川原市などの利点、不利点なども将来を遠くに見通しすることが大切。  
(男性・50歳代・相内)



**冬の目標**

今年の冬はなんとも変な天気ですね。皆さん体調を崩さないよう体調管理しましょうね。

二月の海遊館はというと、半年間続いた国保事業が二月二日の採血で終了となります。毎回の血圧、体脂肪の測定、定期的な勉強会や体力測定、随時記録して目標を持って取り組むことで、今まであまり意識しなかった普段の生活習慣の改善につながった方もいらっしゃると思います。ここでちょっと思い出したのが以前にテレビでやっていました、「折れ線グラフダイエット」これは体重を毎日折れ線グラフで書き記していきます。やるのはこれだけ。微妙な変化が解るように目盛りは〇・一kg。〇・一や二変化の内に入らねえ!と

お思いの方、ここがみそなんです。〇・一でもグラフにすると右肩下がり。この右肩下がりが少しでも続くとグラフを見るだけで楽しくなり、自然と頑張ってしまうのです。人間は楽しかったり、嬉しかったりすると脳内に快感物質が出てまたその行動をしたくなります。この折れ線グラフダイエットはこの人間の行動のメカニズムを活用した物です。運動は必要だと解っていてもなかなか続けられない。運動を快感と感じていないからです。それなら簡単に楽しい事としてグラフをつけるのです。今日も下がった!と〇・一や二の変化で一喜一憂。思う壺です。グラフを右肩下がりにする為の普段の運動や良い食生活が自然と習慣になっていきます。これで私が感じたことは、人間大きな夢や目標を持つことは大切ですが、そのためには自分ができることからこつこつと行っていくことの大切さ。周りの方もちょっとの成功でも褒めてあげる余裕。毎日でもちょっと嬉しかったり、ちょっと幸せだったり感じる事で、自然と成長し大きな目標に近づいているのかもしれないね。皆さんも小さな目標を折れ線グラフにしてみませんか?

**INFORMATION**

**2月からの海遊館が生まれ変わります!**

ご好評頂いていたアルゴの日、バンジェの日、海遊館の日をリニューアル! より良く、より使い易くをテーマに『タラソラッキーマンデー』として登場!! 毎週月曜日、週替わりでお得なサービス目白押し!!



“タラソ行くなら日曜日だね”

**3月のラッキーマンデー**

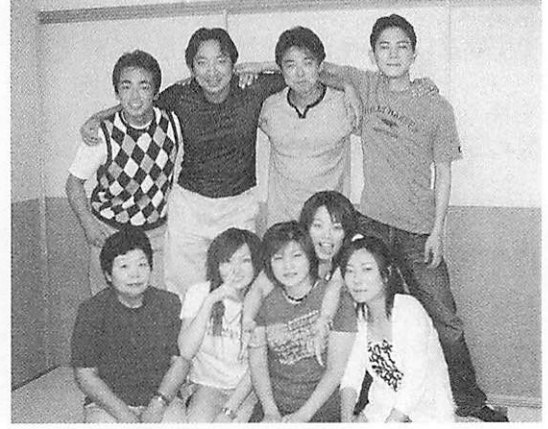
|                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1日: 全オプショントリートメント | 30%OFF           |
| 15日: アルゴパック半額     | 通常¥1,500 ⇒ ¥ 750 |
| 22日: バンジェ半額       | 通常¥1,500 ⇒ ¥ 750 |
| 29日: 子供の入館料半額     | 通常¥ 500 ⇒ ¥ 250  |

**定休日及びメンテナンス休業のお知らせ**

- 2月より、祝日を除く毎週火曜日が定休日となります。(7月8月は無休)
- 今年も年に1度のメンテナンスによる休業を致します。

**3月2日(火)~9日(火)の8日間**

※お間違えのないようご利用お願い致します。



今年もスタッフ一同頑張ります!!





教育委員会だより No.26

# 子どもは「地域の宝」 地域ぐるみで豊かな心を育てよう

## 市浦JFC大健闘!

### 第2回津軽少年フットサル交歓大会

一月十八日(日)、市浦村B&G海洋センター体育館を会場に、「第2回津軽少年フットサル交歓大会(主催/市浦村教育委員会、後援/市浦村体育協会サッカー部)」が近隣の小学生を対象に開催されました。

四団体各三チーム(六年生以下)

下のA・Bチーム、四年生以下のCチーム)の参加で、Aチームはリーグ戦、B・Cチームは



優勝した6年生以下Aチーム

トーナメント戦で試合が行なわれました。  
主な試合の結果は次のとおりです。

◆優勝「六年生以下Aチーム」  
市浦JFC 7-0 松島FC  
〃 3-0 富范SC



準優勝の6年生以下Bチーム

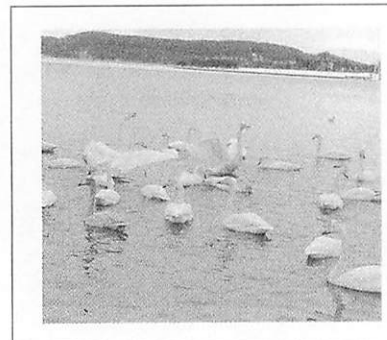
〃 6-2 筒坂SSS  
◆準優勝「六年生以下Bチーム」  
市浦JFC 4-0 富范SC  
〃 0-2 筒坂SSS  
◆準優勝「四年生以下Cチーム」  
市浦JFC 2-0 松島FC  
〃 1-5 富范SC



準優勝の4年生以下Cチーム

## 善意に感謝

十三湖で白鳥が羽を休めています。広報の十一月号でえさの協力を求めたところ、山田光雄さん(桂川)、中山たいさん(相内)から提供がありました。



そば打ち体験に十八組の親子種まきから収穫まで体験した塾生。試食も特別おいしかったとか。

### しゅら子ども未来塾活動報告



しゅららんどで水中運動海遊館スタッフの指導のもと、こころも体もリフレッシュ。



親と子の門松づくり教室自然の材料を使い、二組の参加者は、親と子の共同作業を楽しみました。

### 冬休みの社会教育事業



津軽凧を完成村津軽凧愛好会の皆さんが指導。一日間で見事に完成。

市浦村の埋蔵文化財⑱

津軽十三湊と若狭の交流

はじめに

今回は歴史民俗資料館で公開展示している「羽賀寺縁起」(レプリカ)について紹介したいと思います。

羽賀寺とは？

羽賀寺は奈良時代、霊龜二年(七一六)に勅命を受けた行基(東大寺大仏の建立に協力した渡米系の僧)によって、創建された若狭随一の名刹として知ら

聖時 後花園院深躬痛之  
初元右高麗奏日興列十三湊  
日之本特章安倍康季文武該  
遠備米厚歸租未獻忠惜名者  
也賜披謀復恐奉命爰 帝下  
初瑞寺於康季之家康季頂  
受之眉目尤為麗身八年辰四  
月神功文安四年得造畢十一  
月十八日遷奉尊入室内供奉  
依故齋務焉 初會最嚴重也  
於是康季改山為本淨取山為  
我號五日風聚院自是作安倍  
之崇祠 初願之外務願  
越寶徳二年庚子密師定乘來再

本浄山羽賀寺縁起 (安倍康季再建部分)

れています。場所は福井県小浜市にあります。福井県の若狭湾

一帯は深く入り組んだ地形が多いため、湊として利用された浦々が数多く知られています。なかでも国府や守護所(行政府・政治の中心地)の置かれていた小浜(今の小浜市)は、創建の古い寺院が多く残っており、古来から重要な日本海交易の拠点として繁栄していました。この頃、小浜湊(西津湊)は内陸に位置する中世最大の都市俊・京都と直結した重要な湊町となっていました。また、本尊の十一面観音像は平安時代に造られたもので、国の重要文化財にも指定されています。

羽賀寺と津軽安藤氏の係わり

「羽賀寺縁起」によれば、羽賀寺は室町時代、永享七年(一四三五)の火災によって一山全体が火災となり、堂舎ごとごとく焼失してしまいました。これを聞いた後花園天皇は事態を嘆き、再建復興を命じました。

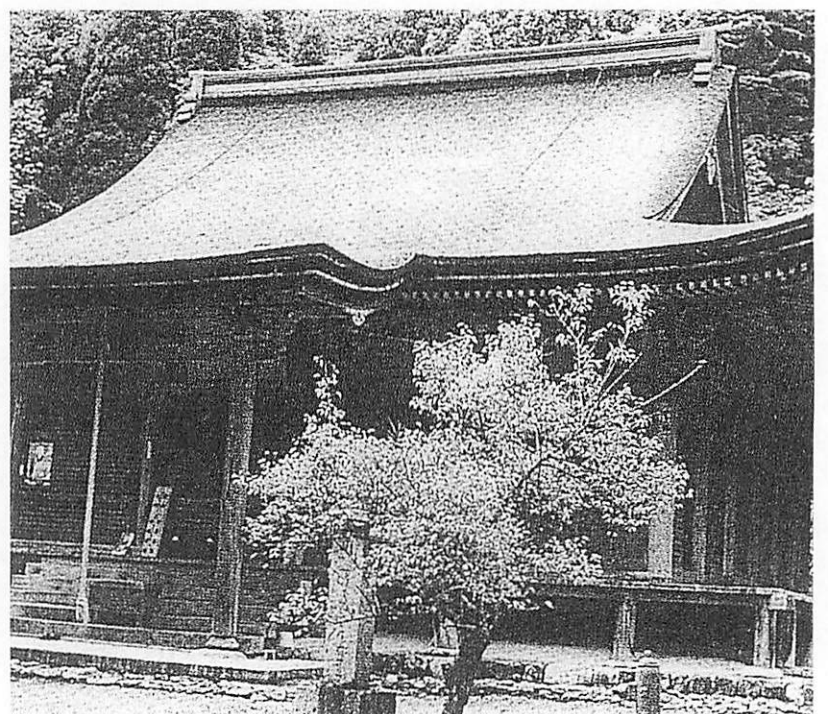
この時、奥州十三湊に本拠を

構えていた安藤(安倍)安季は、この勅命を受け、莫大な財貨を捧げて羽賀寺再建に着手しています。この再建工事は十一年の歳月を費やし、文安四年(一四四七)に完成させたことが同縁起に記されています。

羽賀寺再建の背景

室町時代、日本海における北方交易の拠点として繁栄を極めた津軽十三湊には、安藤氏の嫡流が本拠としていました。当時、北海道から運ばれてくる毛皮類や鮭・昆布といった北方産品を十三湊に集積し、日本海を通じて京都まで運んでいました。こうした交易活動を通じて莫大な経済力を蓄えた安藤氏は、京都と海運の中継地点となる小浜湊(西津湊)に代官を置いていたのではないかと考えられています。こうした関係から羽賀寺再建に携わる縁が生まれたのではないかと推測されます。

また、この頃、安藤氏は糠部(八戸市)に本拠を置く南部氏との戦いによって存亡の危機にありました。永享四年(一四三二)、安藤氏は南部氏との戦いに敗れ、一端、蝦夷島(北海道)に逃れましたが、室町幕府の調停によって、十三湊へ帰って来る事ができました(「満濟准后日記」



羽賀寺本堂

所収)このことから、安藤氏は、まさに存亡の危機に直面した時期に羽賀寺の再建を行ったのでした。安藤氏は南部氏との抗争を背景に室町幕府や天皇といった中央権門と密接な関係を結び、彼らに政治的な後ろ盾になってもらっていました。しかし、嘉吉元年(一四四一)六月、室町幕府第六代将軍足利義教が有力守護の赤松満祐によって殺害される「嘉吉の乱」が勃発すると、室町幕府の後ろ盾を一次失った

安藤氏は、嘉吉二年(一四四二)、再び南部氏によって攻められて蝦夷島に逃れることになり、翌年、小泊村柴崎城から渡海したと伝えられています(「新羅之記録」所収)。  
この後、安藤氏という領主を失った十三湊は急速に衰退し、一四六〇年頃には完全に廃絶してしまいましたが、発掘調査の結果から裏付けられています。(文責 市浦村教育委員会 学芸員 榊原滋高)

# 国民年金ローナー

## 新成人の皆さん、国民年金の加入手続きをしまししょう。

国民年金は、国が責任をもって運営する公的年金制度です。日本に住む二十歳から六十歳までのすべての人が加入することになっています。自営業者、学生などは第一号被保険者に、サラリーマン、公務員は厚生年金や共済年金に加入すると同時に第二号被保険者に、第二号被保険者に扶養されている配偶者は第三号被保険者になります。国民年金などの公的年金は、やがて必ず訪れる長い老後の収入を約束してくれる唯一の年金制度です。年金額は物価にスライドし、何歳まで生きようとも終身にわたり支給されますので安心です。

このようなことができるのは、国民年金がすべての人が加入する社会保険方式をとり、働く世代の保険料で高齢者世代の年金を賄う仕組みをとっているからです。また、年金を支払う費用の三分の一は、国が負担しています。国民年金は、老後の所得保障だけではなく、病気やけがで障害が残ったり、亡くなられたときにも年金を支給し、思いがけない人生の「万一」もサポートします。

加入の手続きは、第一号被保険者は市区町村役場で、第二号被保険者は配偶者の勤務先などを経由して行います。第二号被保険者は厚生年金などの加入手続きに合わせて行いますので、個別の手続きは必要ありません。第一号被保険者、第三号被保険者の方は自分で手続きをする必要がありますので、二十歳になったら忘れずに手続きしてください。

手続きの問い合わせは、お住まいの市区町村役場、最寄りの社会保険事務所へ。

### 国民年金保険料にかかる不審人物の訪問について

最近、「市町村から国民年金保険料の集金にきました。」という事例が発生しております。現在、国民年金保険料の収納については、青森・八戸・弘前・むつの各社会保険事務所の

み取り扱っており、市町村では集金しておりません。

各社会保険事務所の職員と国民年金推進員（国民年金保険料収納指導員を含む）が自宅を訪問し、国民年金保険料の相談を行なっておりますが、必ず、「身分証明書」を携帯しております。不審人物が訪問した場合は、市町村か最寄りの社会保険事務所まで、ご連絡ください。

**\*ワンポイント情報\*** 保険料の時効

納期限から2年を過ぎると、時効により保険料は納められなくなりますので、保険料の請求は加入手続きをした過去2年以上はいたしません。保険料の納め方などお困りのことがありましたら年金係の窓口までご相談ください。

**Q** 25年間保険料を納めたので年金を受ける資格ができました。もう納めなくてもよいのでしょうか？

**A** たとえ、年金を受ける資格のある人でも、60歳になるまで保険料を納める義務があります。また、満額の老齢基礎年金を受けるためには、加入可能年数すべてを納めなければなりません。年金制度は、個人の利害だけでなく、お互いの助け合いの精神でなっていますので、60歳になるまでは、あなたをはじめ国民すべてが公平に保険料を負担して、お年寄りを支えていくことが必要です。

加入可能年数が40年の人で25年しか保険料を納めなかった場合  $797,000円 \times \frac{25年}{40年} = 498,100円$  となります。

# 消防・ネットワーク

火事と救急・救助は一一九番

## 平成十五年における出場の概況について

平成十五年における救急車の総出場件数は一〇九件で昨年に比べ八件減少しました。また搬送人員は一〇四名で昨年に比べ十名減少しました。

平成十五年における火災出場件数は三件で昨年に比べ二件増加し、風水害等の出場は二件で昨年に比べ一件増加し、救助出場件数は二件で昨年に比べ二件増加し、捜索件数は四件で昨年に比べ二件増加し、その他の出場件数が十七件で昨年に比べ二件減少しました。

### ◎事故種別出場件数及び搬送人員

|        |     |     |
|--------|-----|-----|
| ・ 交通   | 七件  | 七人  |
| ・ 一般負傷 | 一六件 | 一四人 |
| ・ 労働災害 | 三件  | 二人  |
| ・ 急病   | 六五件 | 六三人 |
| ・ その他  | 一八件 | 一八人 |

### ◎傷病程度

|       |     |
|-------|-----|
| ・ 死亡  | 四人  |
| ・ 重症  | 二四人 |
| ・ 中等症 | 五〇人 |
| ・ 軽症  | 二六人 |

※軽症とは入院を必要としないもの。中等症とは三週間以内の入院を必要とするもの。重症とは三週間以上の入院を必要とするもの。

### 火の取り扱いには十分注意しましょう

- ・ 建物火災 三件
- ・ 風水害等 二件
- ◎救助活動 二件
- ◎捜索活動 四件
- ※内訳は次のとおり
- ・ 山岳遭難 二件
- ・ 水難事故 二件
- ◎その他の出勤 一七件
- ※内訳は次のとおり
- ・ 薪消火 一件
- ・ 野火消火 一件
- ・ 廃車消火 一件
- ・ 薪消火 一件
- ・ ビニールハウス消火 八件
- ・ 蜂の巣駆除 一件
- ・ 蛇捕獲 一件
- ・ 行方不明船舶捜索 一件
- ・ 油漏れ処理 一件
- ・ 防災ヘリ燃料配達 一件
- ・ 遺体発見 一件

**西北五視力障害福祉会への  
入会のおすすめについて**

この会は、西北五地区にお住まいか、職場があり、視力に障害がある人なら、どなたでも入る事が出来る会です。視力障害者が力を合わせて、生きていくというのが趣旨ですので、一人でも多くの方々の入会をお待ちしています。また家族の「賛助会員」制もあります。

◆主な事業

- 定期総会・会員研修会
- 福祉大会・会員親睦会
- 費用 年会費 一、五〇〇円
- ※その他参加費

▼連絡先

西北五視力障害者福祉会  
事務局「中村 修」  
〒〇三七七〇〇六一  
五所川原市雑田四七一一  
☎〇一七三三三三三五六八三

**神経芽細胞腫検査の休止についてのお知らせ**

「神経芽細胞腫検査」とは、乳幼児のおなかにできる小児がんの一種で、県では生後六、七ヶ月の赤ちゃんを対象に神経芽細胞腫検査を行ってきました。しかし、近年の様々な調査・研究の結果、①この検査のおか

げで神経芽細胞腫で亡くなる子どもが減っているとははっきり言えない。②乳児の神経芽細胞腫は自然に小さくなり消えてしまふことがあること、などがわかってきたため、神経芽細胞腫検査を休止することになりました。したがって検査セットが配布されている場合であっても、提出していただく必要はありませんので、各自で廃棄していただくようお願いいたします。

尚、平成十六年二月まで検査対象となる赤ちゃんで検査を希望される方は検査を実施します。が、検査用紙は平成十六年二月末までに青森県環境保健センターへ送付してください。

▼お問い合わせ

- 西北五視力健康こどもセンター (五所川原保健所) ☎〇一七三三三四二二一〇八
- 青森県健康福祉部こどもみらい課・家庭支援グループ ☎〇一七三七三四一九三〇三
- 市浦村役場 住民福祉課 ☎六二二二二二二 (内線三四)

**2級ボイラー技士免許の資格を取ろう!!**

ボイラー実技講習を修了すると、国家資格である「2級ボイラー技士免許」の受験資格が得られます。

【ボイラー実技講習会】

◆日時

三月二十九日～三十一日 (三日間)  
午前九時～午後五時まで

◆会場

(社)西北労働基準協会

◆受講料

一般・一〇、〇〇〇円

◆テキスト代

二、二〇〇円 (内訳ボイラー実技一、一〇〇円・ボイラー図鑑一、一〇〇円)

◆締め切り

三月二十二日か定員八十名に達し次第締め切ります。

◆持参する物

筆記用具

◆申込先

(社)西北労働基準協会  
五所川原市唐笠柳  
字藤巻四九五―三  
☎〇一七三三三五一六三三六

※詳細についてのお尋ねは、当協会へご連絡下さい。

**2級ボイラー技士免許試験案内**

【高校生】

○試験日 七月二十七日(火)

【一般】

○試験日 九月五日(日)

○会場

青森市文化会館  
青森大学

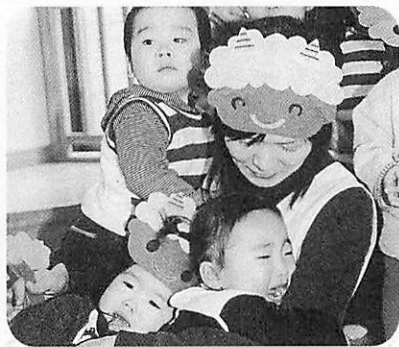
※高校生も受験できます。

**地域子育て支援センター**

どんな活動をしているの?  
こんな活動しています

2・3月の行事

- 2月17日～おしゃべりタイム
- 20日～作って見よう
- 3月3日～誕生会
- 5日～遊ぼう会
- 9日～お話しお話し
- 12日～遊ぼう会
- 16日～おしゃべりタイム
- 19日～お楽しみ会(クッキングの予定)



豆まき会での一コマ

**たからっ子**



おにがくるよ!! ママたすけて

笹山 佳乃ちゃん  
奈津子さん(お母さん)

情報をお寄せください

# おしらせ

役場の電話は62-2111

市浦村の人口と世帯数 平成16.1.1現在

| 大字名 | 前月人口  | 人口    | 世帯数   |
|-----|-------|-------|-------|
| 相内  | 1,156 | 1,162 | 403   |
| 桂川  | 57    | 57    | 21    |
| 太田  | 238   | 238   | 82    |
| 脇元  | 500   | 499   | 199   |
| 磯松  | 283   | 281   | 106   |
| 十三  | 782   | 780   | 266   |
| 計   | 3,016 | 3,017 | 1,077 |

## 国の教育ローン

ご相談はお早めにご

国民生活金融公庫では、高校、短大、大学、各種専門学校などに入学・在学するお子様をお持ちのご家庭を対象に、低利の教育資金融資制度を設けています。志望校が決まりましたらお早めに相談を。

### 【制度の概要】

- ◆融資限度額 学生・生徒お一人につき二百万円以内
- ◆返済期間 十年以内 在学期間内で元金据置可能（返済期間に含まれる）
- ◆返済方法 毎月元利均等払（ボーナス併用払、ステップ払も可能）
- ◆利率 年一・六五%（平成十六年一月一日現在）
- ◆お問い合わせ

## 人権擁護委員を委嘱

坂井 精さん

毎日の暮らしの中で、ふくらんでいく小さな悩みや心配ごとを一人でかかえていませんか。お気軽にご相談下さい。

◆任期：平成16年1月～平成19年12月

▶お問い合わせ TEL 62-2441



## 募集

### 心に残る名前を...

関東地区ふるさと市浦会設立10周年記念誌に名前を付けて下さい。表紙に使う写真も募集しています。

▶お問い合わせ  
市浦村役場・総務課 [山田]  
☎62-2111 (内17)

## 平成十六年度入札参加資格審査申請書の受付について

次の要領により入札参加資格審査申請書を受付します。詳細については産業建設課まで問い合わせ願います。

- ◆指定様式 国土交通省統一様式
- ◆受付期間 平成十六年一月十六日から平成十六年二月末日まで
- ◆受付時間 午前八時三十分から午後四時三十分まで
- ◆有効期間 平成十六・十七年度（二カ年）
- ◆郵送による提出 可

国民生活金融公庫弘前支店  
弘前市上鞆師町一八番地一  
弘前商工会議所会館一階  
☎〇一七二一三六六三〇三

## 一日一円で 〈ご家族の安心を!〉

交通災害共済に家族そろって加入しましょう。

- ◆会費 年間一人三五〇円
- ◆見舞金 二万円～一五万円
- ◆特別見舞金 五〇万円
- ◆共済期間 平成十六年四月一日から平成十七年三月三十一日まで（一年間）
- \*加入の申込みは市浦村役場総務課総務係まで

◆用紙サイズ A4判  
▼お問い合わせ  
市浦村役場 産業建設課  
☎六二二二二一一

## 県内の交通事故概況

青森県交通対策協議会

| 発生 | 12月中        | 年累計           | 死者の状況             | 飲酒運転による死者           | 10人 (-7) |
|----|-------------|---------------|-------------------|---------------------|----------|
|    | 864件 (-30)  | 9,100件 (-26)  |                   | 高齢者の死者<br>~65歳以上の人~ | 48人 (+3) |
| 死者 | 14人 (+7)    | 104人 (+1)     | シートベルト            | 自動車乗車中の死者           | 49人 (-1) |
| 傷者 | 1,105人 (-4) | 11,473人 (-41) | 非着用死者             | 22人 (-3)            |          |
|    |             |               | 着用していれば助かったと思われる人 | 8人 (-6)             |          |

\* ( )内は前年。累計は1月から。速報値のため後日変更することがあります。

## 相続登記はお済みですか月間

青森県司法書士会は、二月を「相続登記はお済みですか月間」と定めて、相続登記の大切さを啓発する活動月間としております。

そこで、この一ヶ月間は相続登記に関する相談を無料で実施いたしますので、お近くの各司法書士事務所までお問い合わせ下さい。

※但し、調査等を要する場合は有料となります。

▶お問い合わせ  
青森県司法書士会  
☎〇一七二一七六六三〇三

# 生活習慣総合チェック



●当てはまるものに○をつける

|                   |  |
|-------------------|--|
| ●食生活が不規則である       |  |
| ●あまり野菜を食べていない     |  |
| ●塩辛いものが大好物        |  |
| ●食べ過ぎたと思うことがよくある  |  |
| ●肉が大好きだ           |  |
| ●あまり歩かない          |  |
| ●だらだらと歩くほうだ       |  |
| ●定期的に運動をしていない     |  |
| ●疲れが翌日に残る         |  |
| ●疲れても休養をとれない      |  |
| ●疲れた顔をしているとよくいわれる |  |
| ●毎日の睡眠時間が6時間以下    |  |
| ●よく夜更かしをする        |  |
| ●眠りが浅い            |  |
| ●すぐイライラする         |  |
| ●クヨクヨしやすい         |  |
| ●気分転換が苦手          |  |
| ●タバコを吸う           |  |
| ●よくお酒を飲み過ぎる       |  |
| ●定期的に健康診断を受けていない  |  |

●あなたの○の数はいくつだい?

|        |                                   |
|--------|-----------------------------------|
| 15~20個 | あなたは生活習慣病行きのキップをにぎりしめ、バク進中の様子。    |
| 10~14個 | まだ間に合う!途中下車して改善への道を歩き始めるのだ。       |
| 5~9個   | もう一息で安全圏。なにか改善できる点はないか、生活を見直してみる。 |
| 1~4個   | ほぼ合格点といえる。油断せず、このペースを守ろう。         |
| 0個     | エクセレント!さっそく、あなたの生活習慣を周囲に喧伝しよう。    |



No.166

## 生活習慣病

毎日の心がけが予防の第一

の世代で発症を防ぐことが最も大切で、そのためには早い時期に適切な生活習慣を身につけることが必要になります。

◎よい生活習慣は子どもの時期から

よく耳にする生活習慣病。皆さんはこの生活習慣病についての位ご存知でしょうか。生活習慣病は字のごとく、栄養、休養、運動、飲酒、喫煙などの生活習慣が原因となっておこる病気を総称したものです。生活習慣病の予防は働き盛り

の頃に多く築かれるものです。また、飲酒や喫煙は十代から始める健康へ悪影響が大きく習慣化しやすいことがわかっており、子どもの時期から良い生活習慣を身に付けるためには家族ぐるみでの働きかけが大切です。

◎病気と生活習慣の関係  
病気になる原因には様々なものがあります。その中で遺伝や感染などは個人で対処するのは困難ですが、生活習慣は本人の自覚で改善することが可能です。

◎生活習慣をチェックしましう  
生活習慣病の多くは、無症状のまま進行します。「自分は大丈夫」と思っている人も危険はすぐそこにあるもの、まずは自分の生活習慣をチェックし、改善点を見つけましょう。

梶浦 一男(十三) 54歳

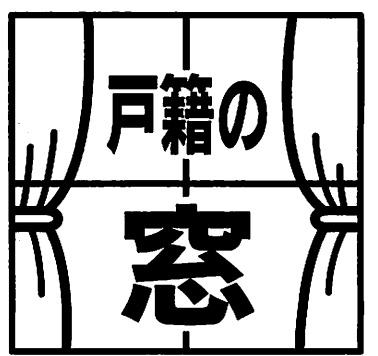
▼おくやみ

- 倉光 辰衛(木造)
- 小野 由紀子(磯松)
- 福島 俊司(十三)
- 秋元 あさ子(稲垣)
- 水戸路 泰(広島)
- 伊南 智代(磯松)
- 成田 直樹(磯松)
- 三浦 美穂子(神奈川)
- 滝本 圭(青森)
- 長利 有里子(太田)
- 野呂 泰之(木造)
- 成田 志穂子(脇元)

▼ご結婚

- 島津 歩空(相内)
- 奈良 怜海(太田)
- 成田 大牙(磯松)
- 白川 翔大(磯松)
- 秋田谷 怜実(相内)
- 秋田谷 遼太(相内)

▼お誕生



あ と が き

ちまたではインフルエンザが猛威をふるっています。不覚にも私も罹患してしまいました。医学書どおり急な高熱、関節の痛み、喉の痛み、加えて全身のだるさはただの感冒とは違うことを痛感しました。

津軽北部合併協議会崩壊という一大事になってしまい、新しい枠組へと模索が始まりました。「情緒があって行って見たくなる町」と県内外に住む友達から言われたのもつかのま、まぼろしの「十三湖町」となってしまいました。

五所川原市と合併したらどうなるのかという不安と、市になったらもっと良い町という期待の二つがあると思います。

いま、住民が知りたいのは将来の展望であり、財政的にはどうなるのか、福祉サービスは低下しないのか、高齢者サービスは今までどおり受けることができるのか等あらゆる行政サービスが低下することなく今までどおりの生活が保証できるのかというところにあると思います。

おおかでもいい、少しでもいい、将来の生活を左右するこの大問題について皆さんで考えて行きましょう。

- 矢本 保(十三) 65歳
- 三浦 精三(相内) 66歳
- 中井 ソダツ(十三) 86歳
- 松橋 徳夫(脇元) 76歳
- 豊島 サダ(十三) 79歳
- 秋元 克郎(磯松) 64歳